

# ふたかみ NEWS

## プチトマト

100年つむぐ  
葡萄とワイン  
の  
記念祭



ハピバール  
高島美優さんの  
デザインが選ばれました！



5月11日(日)に開催された「100年つむぐ葡萄とワインの記念祭」に出店しました♪会場には多くのお客様が来店されており、商品を見て「可愛い」と評価を頂くことが出来ました。  
(波多江 ひ)



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: [futakami@kagayaku-inochi.com](mailto:futakami@kagayaku-inochi.com) <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



## たかわしこどもまつり

6月1日高鷲学園で開催された「たかわしこどもまつり」に参加しました。

以前は、ふたかみ福祉会後援会より参加していましたが、コロナをきっかけに開催が一時閉ざされましたが、再開とともにびきの園も毎年参加し今回は、「お菓子つかみ取り」を出店させていただきました。(オープニングセレモニー前からたくさんの方が楽しみに来られていました。)開店と同時にイベントがあったことで初めはまばらだったお菓子つかみ取りも、子供たちがワイワイ楽しんでいることをきっかけに大盛況♪つかんだお菓子は絶対放さないと言わんばかりに手が真っ赤になりながらつかんでいる子や、欲しいもの一つだけ取って笑顔で「ありがとう(\*´ω`\*)」とお礼を言ってくれる子!!楽しい販売に参加出来ました☆ (山田)



### 多肉植物はじめました ~ハピバール~



なかまの陶器×多肉植物のコラボが誕生しました!!  
お値段1800円~  
お買い求めの際は  
ハピバールまでお越し下さい🌷

### cafeハピバール

#### 7月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 5日(土) 19日(土) 21日(月)

※12日(土)、26日(土)は、貸し切り営業になります。



★Instagram★  
[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar.com)

お問い合わせ先  
072-958-3232

#### ■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

2025年5月

- ・寺村美知子 . . . . . 以上7口
- ・田中美希 楠尾薫 古谷章 福井良蔵 川原茂登志 新田金次 西田佐知子 宮本順一 清水一 樽井義憲 赤井俊文 上戸将博 荻野松子 西原俊子 塩野貴司 那須澄子 上峠通男 下原保 丹羽久子 畑英作 佐野省三 鎌田修 山本和美 平岡俊雄 重信豊和 松永匠 安井敏雄 杉山保 片田登志子 松本茂樹 梁誠一 駒澤由美子 志田勉 高島香織 三宅渡 姿倉克枝 細川直幸 . . . . . 以上5口
- ・山口鋼一 . . . . . 以上3口
- ・竹東公子 宮崎孝代 山口元子 城裕久子 石田陽喜 妹尾睦子 谷口美喜子 上田利恵子 竹内彩 . . . . . 以上1口

■寄附 竹東公子様 宮崎孝代様 寺村美知子様 川原茂登志様 妹尾睦子様 竹内彩様 家族会団体会費様

■ボランティア 垣内秀夫様

■アルミ缶回収(5月分) . . . . . 850 kg

ありがとうございます。

#### ◆2025年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口2,000円 団体会費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

### 「先送りにしない。きょううされん全国総会、国会請願署名に参加して」

5月28日、きょううされん全国総会に出席しました。今回はオプザーバーとして出席させてもらったのですが、全国規模の総会なので前には役員の方々がずらりと並んで座っており緊張感溢れる総会でした。基調報告や能登の支援報告など数々の報告やお話がありましたが、一番印象に残ったのは藤井克徳専務理事の「先送りにしない」という言葉でした。何事も後回しにせずすぐに行動する。このことを肝に銘じる！と強く言っておられました。この言葉は今回の総会のキーワードになるぐらい、その後何度も総会内で使われました。

後半は分散会があり、6グループに別れて3つのテーマについて意見を出し合いました。その一つは「仲間の言いたいこと」で、実際に仲間が「もっとお金を稼いで外食に行きたい」など自分の思いを順番に発表していました。また「共同作業所の中が成長していない」「どの法人も学習が足りない」などの意見もあり今後の課題となりました。

### 最後に全体で分散会の報告がありました。その後の全体討論ではすぐに手が挙がるほどの盛り上がりで、その中には今年の全国大会で奈良の呼びかけもありました。また来年の第49回全国大会in大阪の呼びかけもあり、実行委員長が大阪大会の意気込みを話し、大阪ならではの笑いを届けて場を和ませてくれました。総会が始まった頃の緊張感はすっかり解け、生演奏の元、みんなで合唱した「折り鶴」は全体を一つにしてくれる良い時間となりました。

翌日5月29日は国会請願行動に参加しました。国会議事堂周辺に行くのは初めてだったので警備の強度に驚きました。全国から集まったきょううされん関係の方々や私達と同じ職員、仲間も合わせて400名程が集まり国会議員事務所を訪問しました。皆さんにご協力頂いた署名を持って6名1グループに別れてマンションの様ならずらりと並んだ事務所に訪問。議員の名前が書いた部屋のインターホンを押し「国会請願の紹介議員になつていただけませんか?」とお願

いして回ります。議員が不在の時は秘書の方が代わりに話を聞いて下さったり、時にはインターホン越しに「ポストに入れといて下さい」と言われることも。そんな中、部屋に入れて下さり熱心に話を聞いてくれる議員のさんも居ました。今、私たちが困っていること、福祉の現状など、訪問した6名一人一人の話に耳を傾け、しっかりメモして下さる姿を見て、みんなの思いや願いを少しでも届けられた気がしました。次は仲間も一緒に参加する事が出来れば、もっと強く思いを伝えられると思います。

今回二日間に渡り、貴重な経験をさせて頂いたことに感謝し、今後の活動に活かせるように日々精進していきます。(大西)



### 「学生さんと種まき」大阪公立大学交流会」

5月9日・6月6日に環境と食農の技術センターにおいて、大阪公立大学の学生と園芸活動を通じての交流会がありました。一日目は、ペアになった学生と一緒にマリーゴールドの種をまき、母の日への花束作りをしました。



二日目は、花が咲いたマリーゴールドの植え替えや、じゃがいも掘り・袋入れの体験をしました。じゃがいもは「ほくほくしていても美味しくかった」とご家族からの声をいただきました！

2日間の交流を通じて緊張もほぐれ、会話にも花が咲きました。公立大学羽曳野キャンパスが大阪市内に移転となるため、残念ながら交流会は今回で最後となりました。今まで楽しい時間を本当にありがとうございました！(田邊と)

### 「はびきの園休日開所」

はびきの園では年間予定を決め、土曜や祝日に「休日開所」を行っています。5月は3回行いました。その様子を紹介します！

5月は「映画会」「シールを集めてお菓子をゲット!」「ミニミニ運動会」と楽しそうな企画が盛りだくさんです★

映画会では同時に2つの映画が上映され、好みの映画を鑑賞!「やっぱり名作やね〜」「続き見たい!」などなかまから意見がありました♪

お菓子をゲット!では、なかまが選んだカードに合わせ、3つの言葉のシールを園内探索!見事見つけてお菓子をゲット☆出来ました♪

ミニミニ運動会では、玉入れやおやつ取り、リレーで大興奮!リレーは職員も参加し、大盛り上がりで一日を終えました!(田邊と)



### 「障害のある方たちに寄り添い、地域に根差した活動を」

5月24日に富田林市民会館にて、法人職員会議を行いました。午前中は、京都府北部「丹後」を基盤に障害者福祉を通して、地域の福祉の向上に貢献することを目指している社会福祉法人よさのみ福祉会 青木一博理事長に講義をして頂きました。

障害者の労働・生活・発達保障と地域づくりの取り組み報告という題目で、①与謝の海養護学校づくり運動 ②無認可共同作業所づくり運動 ③法人(よさのみ福祉会)の設立 ④法人設立から45年のあゆみという4つの構成でした。京都府北部地域は、いち早く障害児学級が開設され、教育権利保障運動の結果、養護学校が義務化された1979年より前の1970年にどんな重い障害の重い子も入れる与謝の海養護学校が開校されました。

障害児教育において先駆的な地域で、各地から学校見学が絶えなかったそうです。実際に、当法人の八木理事長も教員時代に見学へ行かせてもらったと当時を振り返っていました。その与謝の海養護学校づくりの理念と運動の教訓を

引継ぎ、発展させることを理念に掲げた、よさのみ福祉会は、①障害者労働・生活施設設置運動 ②第三セクターで自己破産したりフシかやの里の再生 ③分野を異にする4つの事業体が地域共生を目指し運営する「地域共生型福祉施設」の開設など非常に内容の濃い話を聞かせて頂きました。講義の中の話で、45年間におよぶ障害のあるなかまに対する様々な想いや大切にしてきたことを聞かせて頂き、自分たちが今後どうやっていくかを考えさせられるよい機会となりました。

午後からは、ハピバールの波多江光さんから能登半島地震・豪雨支援の報告があり、報道されていない能登の現状を統計や写真などを交えながらの報告でした。高齢化率が51%や災害関連死が256人というのも印象的でしたが、買い物出来る場所が減り、アイスクリームなどが500円で販売されているというのが特に印象的でした。一日でも以前のような日常を送れるよう自分たちが出来ることを継続的に行っていかねばと感じました。

そして、法人職員にてワールドカフェ形式で、講義や災害支援の感想の共有、講義を踏まえて自分たちがこれから障害福祉でできること、地域づくりでこれからできることなど、みんなて話を重ねました。時代の移り変わりとともに障害福祉における現状は情勢に翻弄されていますが、みんなで意見を出し合っ、理念と基本方針に沿った活動をしっかりとこの地域で続けていきたいと引き締めるよい機会となりました。

それ以外に、永年勤続表彰や令和6年度採用者のスピーチなども行いました。最後に、気持ちをしっかり引き締めて、障害のある方たちに寄り添い、地域に根差した活動を職員集団で模索していきたいと思えた一日でした。(山下)

